

- 各種法令等
- 学習指導要領

- 川崎市立荏宿小学校 学校教育目標
心やさしく、他者を理解する子(徳) 自ら学び、判断し、行動する子(知) 心も体も健康に生活する子(体)

- かわさき教育プラン(R8～)
一人ひとりが輝き、共に未来をつくる

- 心やさしく、他者を理解する子
 - 人権尊重教育、支援教育、道徳教育の推進
 - ・互いの人権、多様性を認め、思いやり、共に生きる姿勢の育成に向けた人権尊重教育、支援教育の充実
 - ・道徳的価値の理解と実践、共生・共育の推進
 - 安心感、自己肯定感、自己有用感の育成
 - ・一人一人の居場所があり、安心感を得られる学級経営
 - ・自分の良さの実感、集団への所属感の育成
 - いじめ防止に向けた取組の継続
 - 参画し、共に作り上げる周年行事や学校行事
 - ・70周年事業等での個の充実感と集団の達成感の育成
 - ・児童が主体的協働的に企画、運営する各種行事の実践
 - ・異学年交流による関わり場の設定

- 自ら学び、判断し、行動する子
 - 課題を追究して解決する学習
 - ・育成を目指す資質・能力を明確にした授業
 - ・考え、判断し、表現・行動する「探究的な学び」の推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
 - ・チャレンジする場の設定や気持ちの育成
 - ・ICT 機器、GIGA 端末の効果的活用
 - 学習状況調査(全国・市)の効果的な活用
 - ・調査結果の分析の充実と、校内研修充実
 - ・「わかる」実感への手立て
 - 読書活動の充実
 - ・読書環境の整備と日常的な読書活動の推進
 - ・学校司書や保護者ボランティアとの連携

- 心も体も健康に生活する子
 - 基本的生活習慣の確立と健やかな体作り
 - ・あいさつやルールの意味理解と良さの実感への手立て
 - ・教職員を含めた学校全体でのあいさつの励行
 - ・健康教育、食育の充実、キラキラタイムの充実
 - ・家庭や地域との連携
 - 教職員の業務改善、健康確保の推進
 - 教育相談体制の充実
 - ・児童に寄り添い、児童が安心感を得られる支援
 - ・支援教育 CO を中心とした相談支援体制の充実
 - 安全安心の環境づくり
 - ・人権尊重を踏まえた教室環境、学校環境づくり
 - ・防災、防犯、SNS についての指導、各所との連携

●令和8年度 荏宿小教育プラン 重点テーマ

「自信をもって表現する力の育成」

●令和8年度 創立70周年記念 スローガン 「未来に向かって HOP STEP JUMP! 」

●1年
えがお いっぱい
元気 いっぱい
なんでも チャレンジ
1年生

●2年
にこにこ
チャレンジ!!

●3年
3ピース
あいず
あいさつ
ありがとう

●4年
しあわせ
～4つの「し」で
しあわせ～

●5年
STEP UP

●6年
トライ&エラー
～無限のカ～

●そよかぜ級
友だちと
関わり合おうと
する子

●すべての教育活動の基盤 「人権尊重教育」「子どもといっしょに地域・保護者も学べる学校」「教職員が働きやすい環境づくり」

●心やさしく、他者を理解する子

○人権尊重教育、支援教育、道徳教育の推進

- ・互いの人権、多様性を認め、思いやり、共に生きる姿勢の育成に向けた人権尊重教育、支援教育の充実
- ・道徳的価値の理解と実践、共生・共育の推進

すべての教育活動の基盤に児童一人一人の人権が尊重される「人権尊重教育」を掲げる。個に応じた支援を行い、児童が多様性を可能性や豊かさとしてとらえ共に生きる大切さを実感できるようにする。

○安心感、自己肯定感、自己有用感の育成

- ・一人一人の居場所があり、安心感を得られる学級経営
- ・自分の良さの実感、集団への所属感の育成
- ・いじめ防止に向けた取組の継続

児童一人一人が自分らしくあることを尊重され、あたたかな環境の中で学校生活を送れるようにする。集団に所属する良さを感じ、自己有用感等を得られるようにするとともに、日常的にいじめ防止に努める。

○参画し、共に作り上げる周年行事や学校行事

- ・70周年事業等での個の充実感と集団の達成感の育成
- ・児童が主体的協働的に企画、運営する各種行事の実践
- ・異学年交流による関わりの場の設定

70周年事業等に関わる各種取組や行事、縦割り活動等で、児童が主体的に企画運営することで、共に作り上げる喜びを得るとともに、児童一人一人が行事等に参画する楽しさを味わうことで、学校の一員である自覚につなげていく。

●自ら学び、判断し、行動する子

○課題を追究して解決する学習

- ・育成を目指す資質・能力を明確にした授業
- ・考え、判断し、表現・行動する「探究的な学び」の推進
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ・チャレンジする場の設定や気持ちの育成
- ・ICT 機器、GIGA 端末の効果的活用

各教科等の授業で、育成を目指す資質・能力（目標、ねらい）を明確にして、児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた支援を行う。特に「自信をもって表現する力」の育成に向けて、総合を中心とした各教科等で「探究的な学び」を充実させる。また、他者や地域と関わりながら学び、自らチャレンジして学習に取り組む場を設定する。

○学習状況調査（全国・市）の効果的な活用

- ・調査結果の分析の充実と、校内研修充実
- ・「わかる」実感への手立て

学習状況調査（全国・市）の結果の分析と各種校内研修を充実させ、意識調査結果も活用しながら、年間を見通した授業改善の取組を進める。

○読書活動の充実

- ・読書環境の整備と日常的な読書活動の推進
- ・学校司書や保護者ボランティアとの連携

学校司書や保護者ボランティアと連携して、日常的な読書活動や、学習に必要な図書の環境整備等に努め、児童が図書を身近に感じられるようにする。

●心も体も健康に生活する子

○基本的生活習慣の確立と健やかな体作り

- ・あいさつやルールの意味理解と良さの実感への手立て
- ・教職員を含めた学校全体でのあいさつの励行
- ・健康教育、食育の充実、キラキラタイムの充実
- ・家庭や地域との連携
- ・教職員の業務改善、健康確保の推進

あいさつやルール等の意味を理解し、その必要性を感じられるよう日常的に指導するとともに、教職員を含めた学校全体での取組を重視する。食育等の取組については児童一人一人が自身の成長を実感し、取組の良さを得られるようにする。また児童の健やかな成長に向け、教職員の業務改善と、働きやすい環境づくりを進める。

○教育相談体制の充実

- ・児童に寄り添い、児童が安心感を得られる支援
- ・支援教育 CO を中心とした相談支援体制の充実

相談室等の活用をはじめ、日ごろから児童の思いに寄り添い、信頼関係を重視して児童が安心感を得られるようにするとともに、相談支援体制の充実を図る。

○安全安心の環境づくり

- ・人権尊重を踏まえた教室環境、学校環境づくり
- ・防災、防犯、SNS についての指導、各所との連携

日常的に環境を整え、安全で安心できる環境づくりと、各種課題に対する指導を引き続き重視する。